

大阪府堺市初芝保育園様にお伺いしました。

キッズデザイン賞を受賞された園舎はビオトープや築山、畑など、地域からなくなりつつある環境が用意されており、その環境の中で子ども達が独創的な遊びを作り出している姿を見学させて頂きました。



【ビオトープ】
地域からくなつていい環境を子ども達に返していきたい。
そんな想いが溢れています。



【砂場】
一人ひとりが自分らしく、でも一つのものを協力して創り上げています。

園長の高槻先生は、地域からなくなりつつある環境として、「子ども集団」、「異年齢の関わり」を強く感じ、今後は年齢別のクラスから異年齢の保育に変えていく必要があります。皆さんと話し合い、「大変だけれども、子ども達の為にみんなで変わつていこう」と決められたそうです。そのお話をお聴きする中で高槻先生の印象的なお言葉がありました。

「変わっていくのも、職員

と楽しく変わつていけるようになりたい。やらせたり管理するのではなく、一緒に楽しく成長していきたい」

そう言って、職員への環境作りを考案する高槻先生の眼差しは、「管理者」ではなく、「フオロア」としての見守る眼差しでした。

私達クルーも見守り合う思いやりの実践として、「フオロア」としての眼差しを大切にしていきたいと思います。

神奈川県横浜市のわくわくの森保育園様へお伺いしました。園長の楠本先生のお話によると、園で大切にされているのは、「人のよいところをたくさん見つけて誉めること」ということでした。これは子どもへの関わりだけでなく、職員同士の関わりの中でも大切にされており、その一つの具体的な工夫として「スマイルツリー」というものが実践されておりました。職員同士が相手のよいところを見つけた時に、「こんなところが素敵だったよ!」というメッセージを葉っぱ型の紙に書き、職員室に飾られている木の絵に貼つていくのです。その葉っぱは毎月の給与明細に貼つて本人に贈られるとのことです。



【スマイルツリー】
誉める文化が職員の笑顔を育てています。

見守る眼差し



株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第55版

理念と実践で 絆を結びます

誉める文化

子どもから考える

平素より弊社の商品をご愛顧頂きありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願ひいたします。



【2日目分科会の様子】
地域を越え、園も越えてディスカッション。

先日、KKRホテル東京にて「職域別見守る保育セミナー」が開催されました。2日目の分科会では、見守る保育を実践する園で給食として、事務として、看護としてどう関わるか。「同じ職場で働く保育者として見守る保育を実践したい、他の園はどのような実践をしているのか、こんな時はどうして」と園を越えてくる温かな雰囲気は、この「誉める」という文化からきているのだと感じました。

セミナーには毎年参加されるリピーターの先生も何名もいらっしゃいます。一年ぶりに再会された先生方と、その間の実践を語り合って、情報交換しているお姿もありました。夜の意見交換会では、日頃は園内で一人しかいない職種として働かれている先生もあり、園同士の情報交換に話が弾み何度も笑いが起き、あつあつでした。

私達クルーも、お互いに認め認め合い成長し合える関係を大切にしていきたいと思います。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース



鍋一杯のお粥も、ペロリ！



自然光の中で、ちゃぶ台を囲み、いただきます！



「おねんが」クッキー

クッキーに想いを託して
クルーを見送ります。

旬の七草を入れ、粥にすること
で、新たな力を頂き、無病息災を祈
る風習だったそうです。皆で健康に
一年過ごそうと、七草囃子を唄いな
がら七草を刻んで一緒に食べたお
粥は、温かく優しい味がしました。
皆で囲む行事食には、美味しいエツ
センスがいっぱいです！

お正月も終わり、今年最初の全体
会議では、皆で「七草粥」を頂きました。
クルーの発案で、お正月の「松の
内」にお渡しさせて頂いたクッキー
には：「おねんが」と入れさせて頂
きました。

新しい年と一緒に迎えさせて頂いた感
謝を込めて、ささやかですが遊び心
を添えてみました。ご笑納頂いて
おりました幸いです。

※カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

七草粥の隠し味

全員そろって、一人ずつ
お屠蘇を頂きます。

お屠蘇も自然酒に生薬を入れた手作りです。

新しい年の始まりは、パートナーの方々が集まり、カグヤ一家をあげて新年をお祝いします。まずは一家揃つてお屠蘇を頂き、飲み終わった人から、自分の今年のテーマを漢字一文字に表した「書き初め」を行います。毎年続けているので、昨年の一字を見て振り返りながら、新しい年を書いて、新しく一年の書き初めを行います。

こうして二つとして同じ意味のない、それぞれの一文字が組み合わさって、新しい年への仲間の想いを聴いていきます。こうして二つとして同じ意味のない、それぞれの一文字が組み合わさって、一家の新しい年がスタートしました。

この日まで、お互いの
「1文字」は内緒です。社内の目立つところに
1年間飾っています。

年の始まり

の一文字を色紙に書き上げます。

皆が書き終わると、一人ずつ昨年の一文字を振り返り、今年の一文字を発表していきます。一文字を通して、新しい年への仲間の想いを聴いていきます。

カグヤでは新しいクルーが入社すると、必ず「玄米講習」を開催します。先日も新しくクルーが仲間入りし、講習がありました。以前は圧力鍋でしたが、今年からは土鍋を使って玄米を炊いています。

「米=種」と「土鍋=土」
の組み合わせです！新入クルーだけでなく、
皆集まって、受講です。

玄米講習

土鍋で炊かれた玄米は…、なんだか玄米自身も喜んでいるようで、同じように炊いた玄米でも、これまでのものと味も食感も全くの別物でした。玄米が生き生きしています！

講習後は、クルーが自宅でも玄米を炊けるよう、土鍋がプレゼントされます。生きることに直結している「食」は、生き方と働き方を分けない、



初めての実食…お味は!?



初めての実食…お味は!?

一期一会庵

温故知新

先月、伊勢神宮を参拝する機会がありました。

この時期の伊勢神宮では、遷宮後の新しい御社と遷宮前の古い御社の二つが真横に並んで拝見できます。

古いものを新しくしていくことは、先人の遺したもの解体して新しく組み直すという真心があります。伝承というものは、その「初心を忘れないように」という伝える側と承る側の覚悟があるように感じました。

私たち、つい傲慢になつてくると今の時代が先人たちの努力の集積によって成り立つていることを忘れてしまいます。

それが忘れないようにするために、先人が一体何をしてきたのかを自らで体験しなければ気づけないように思います。

先人の遺した経糸と、今を生きる私たちの横糸が一つの反物を織り成すように今は

何時までも積み重なっています。小さな日々の実践を大切にすることが、子どもたちに未来を譲っていくことだと肝に銘じようとお祈りいたしました。

背中で教わることができるのも、背骨を入れてくださるものいつも私達の先祖・祖神の御蔭です。カグヤも御先祖様の生き方に恥じないように子どもたちのための実践を譲つてていきます。

編集後記

竹取新聞をご覧頂きまして、誠にありがとうございました。

今月も園にお伺いし、先生方の生き方丸ごとの実践をたくさん見せて頂きました。私たちも実践でお役に立てるよう邁進してまいります。

立春を過ぎたとはいえ、まだまだ雪や寒さが厳しい折、皆様どうぞお体によい適進してまいります。



株式会社 カグヤ

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

本社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389

URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)